

■基本方針について

会議	意見	計画への反映など
第1回	①サービスの質の向上についても触れられているが、具体的に何をサービスとするのか分かりにくい。	・6章1（3）へ「多様な市民ニーズへの対応や、より質の高いサービス」について、「①民間活力の導入」「②地域移管」の手法を活用する事と記載。
	②泉大津市は小さな街で、徒歩利用がしやすい街との特徴を生かして、公共施設の配置計画を考えることが重要。	・6章2（1）、公共施設への移動手段のうち約7割は徒歩・自転車となっており、今後、複合化・多機能化や統合等により、施設の配置が変更となった場合でも引き続き良好なアクセスが維持できると記載。
	③最近では、省エネルギーなどの観点や、コスト圧縮や管理のしやすさなども考慮すべきと思う。	・コスト縮減については、6章の1（2）①にライフサイクルコストの縮減について記している。 ・省エネルギー、環境面への配慮については、6章2（4）にゼロカーボンシティとしての取組みを記載。
	④泉大津市でも立地適正化計画が令和5年に一度改定されている。「施設の行きやすさや集まりやすさ」、コンパクトシティとネットワークの観点が重要だと思う。	・②の回答と同じ。

■公共施設適正配置基本計画（構成案）について

会議	意見	計画への反映など
第3回	①公園のように基盤となる部分は行政が担い、運用面は地域と協力しながら柔軟に進めていくのが良いと思う。	・6章1（3）①民間活力の導入に公民の役割分担を記載。 ・6章1（3）②地域移管の推進に地域による運営を記載。
	②「外部委員会」、「検討委員会」と表現が複数有る。表現を揃えた方が良いと思う。	・「検討委員会」に統一。
	③第3期計画期間以降は、人口の大きな増減が少ない時代に入っていく。公共施設を「減らす」だけではなく、「時間をずらす」「更新時期を分散させる」といった視点も必要になると思う。	・6章1（2）④に財政負担の平準化や、6章2（5）に公共施設の統廃合の取組みとして、人口規模に相当した適正配置を目指す事を記載。

■公共施設適正配置基本計画（骨子案）について

会議	意見	計画への反映など
第4回	①図表 3-1 にある「完了」とは、具体的に何を指すのか。	・ 3章 1 の冒頭に「改修、統合、地域移管など適正配置に関する進捗」と記載。
	②「削減」の目標と実績について、図表 6-3 のパーセンテージは何を基準にした割合なのか。	・ 6章 1（4）に面積（基本方針策定時：183,974 m ² ）を記載
	③シープラ、シーパスパーク、テクスピア大阪など、非常に好評である事業をきちんと記載する必要がある。	・ 4章 3-2（1）及び4章 5（1）（ウ）の内容を踏まえ、4章 2「検討指針」に記載。
	④3章 3の各基本方針の表にある「実施済み」と「新たな取組み」という区分があるが、何を指すのか分かりにくい。	・ 3章 3の表を、2 期計画期間までに実施したものとして構成を変更。
	⑤成果の欄に「実際にうまくいっている」「成功している取組である」ということを、きちんと示すべきと思う。	・ ③の回答と同じ。
	⑥「好評だった」「評価が高かった」取組を、どのように第3期に生かしていくのか。時代の変化や市民意見、民間活力の活用などに応じて柔軟に見直す必要がある。	・ 第6章 3に「適正配置計画の評価・改善を踏まえて、5 年を目途に計画の改定を行います」と記載。
	⑦総合計画をはじめ、並行する各種計画との関係についても、簡単な整理や言及があるとよい。	・ 2章 2の冒頭に「関連する諸計画と整合を図りながら」を記載。
	⑧高齢者福祉施設は、多世代交流のような違う目的に切り替えていくことなど施設の使い方や発信の仕方についても計画の中に盛り込んでもいいと思う。	・ 6章 1（1）に「様々な効果を期待して、建替時に限らず、既存施設の複合化・多機能化を推進していきます」と記載。
	⑨時間帯により高齢者の利用、高校生の居場所として活用すると床面積削減につなげられる。	
	⑩建物の維持管理費、運営費が継続的にかかっていくが、この計画の中でどのように反映されているのか。	・ 6章 1（2）に、予防保全、発注方法、利用者負担の適正化によるコスト圧縮を記載。
	⑪イニシャルとランニングについても、総合的にコストを抑えていく視点を示しても良いのではないのか。	・ 6章 1（3）に、民間活力の導入、地域移管まで含めた運営の効率化について記載。